

## 1 商品取り付け範囲について

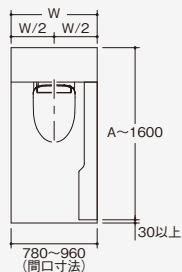
## 1-1 設置可能寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。間口750mm未満には対応できません。

## (1) 間口750～960mmの場合

## 〈L型・Mサイズ〉

カウンターは使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて下記の長さにカットできます。

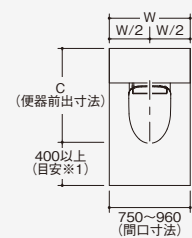


(単位:mm)

タイプ	A
床排水(排水心200)	1565
床排水(排水心135)・壁排水	1501

※床排水(排水心200)と床排水(排水心135)・壁排水では、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレのカウンターカット寸法が異なります。

## 〈I型〉



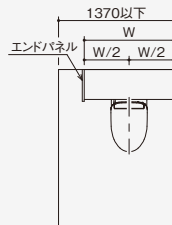
(単位:mm)

タイプ	C
床排水(排水心200)	870
床排水(排水心135)・壁排水	806

※1 やむなく狭いスペースに設置せざるを得ない場合や、トイレ内に障がい物がある場合は、器具の取付上、機能上最低限必要な寸法を確保ください。ただし、使用される方によっては、狭く使用しづらく感じられる場合があります。  
また、便器先端から約300mm以内に障がい物がある場合は、便座・便ふたが開まらないことや、便器のオート洗浄ができなくなる場合があります。  
※床排水(排水心200)と床排水(排水心135)・壁排水では、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレ寸法が異なります。

## (2) エンドパネルを使用する場合

エンドパネルを利用して壁とすき間をあけて設置することも可能です。  
間口は1370mm以下としてください。

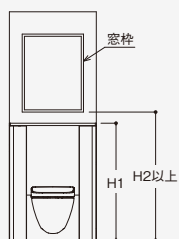


※上図はRタイプのエンドパネルです。  
逆勝手がLタイプです。

## 1-2 窓枠などについて

壁に窓枠や腰壁の見切りなどの突起物がある場合、下図のような制約がきます。事前に製品と干渉しないよう窓枠や腰壁の見切りなどの位置を設定してください。

## (1) 大便秘器後ろ壁に窓がある場合

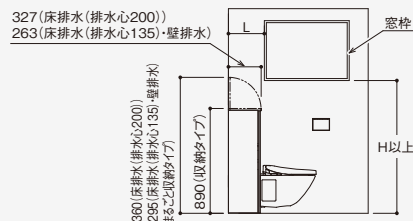


タイプ	(単位:mm)	
	H1	H2
L型・Mサイズ(まるごと収納タイプ)	1050	1100
L型・Sサイズ(まるごと収納タイプ)	1050	1100
I型・手洗器あり(収納タイプ※1)	890	1020
I型・手洗器なし(まるごと収納タイプ)	1050	1100

※まるごと収納タイプで、窓枠の高さが1100～1295mm(床排水(排水心200)の場合は1100～1360mm)かつ、窓枠の出代が10mmを超える場合は天板が自立しません。

※1 天板は開きません。

## (2) 大便秘器横壁に窓がある場合



(単位:mm)

タイプ	床排水(排水心200)		床排水(排水心135)・壁排水	
	L=365以上	L=365未満	L=300以上	L=300未満
L型・Mサイズ(まるごと収納タイプ)	840	1395	840	1330
L型・Sサイズ(まるごと収納タイプ)	1040	1395	1040	1330
I型・手洗器あり(収納タイプ※1)	—	1020	—	1020
I型・手洗器なし(まるごと収納タイプ)	—	1395	—	1330

※1 天板は開きません。

## 2 取り付け施工条件について

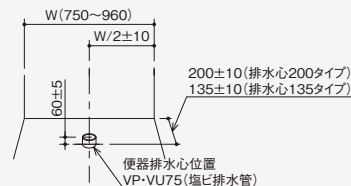
## 2-1 給排水位置の条件

## (1) 排水位置の条件

## ① 床排水タイプ

下図の位置に便器の排水心があることをご確認ください。

VP・VU75(塩ビ排水管)は床から60±5mmで立ち上げてください。  
VP・VU100(塩ビ排水管)には接続できません。

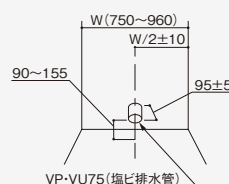
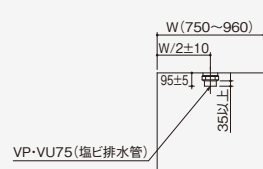


## ② 壁排水タイプ

下図の位置に便器の排水管位置があることをご確認ください。

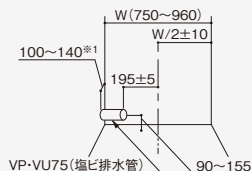
排水勾配は必ず1/50以上確保してください。便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。VP・VU100(塩ビ排水管)には接続できません。

## 〈後ろ抜きの場合〉

〈後ろ抜き・フランジ付の場合〉  
排水位置高さは90～155です。

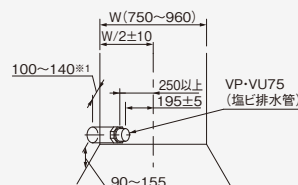
## 〈左抜きの場合〉

※右抜きタイプの場合は左右対称です。

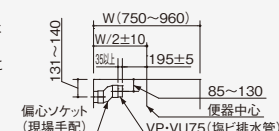


## 〈左抜き・フランジ付の場合〉

※右抜きタイプの場合は左右対称です。



※1 排水位置が後ろ壁から131～140の場合は別途偏心ソケットを手配し、右図の位置に立ち上げてください。偏心ソケットは逆勾配にならないように、取り付けてください。



## 1 商品取り付け範囲について

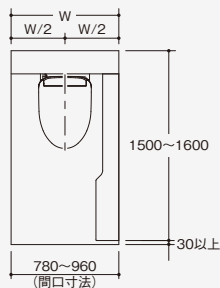
### 1-1 設置可能寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。間口750mm未満には対応できません。

#### (1) 間口750～960mmの場合

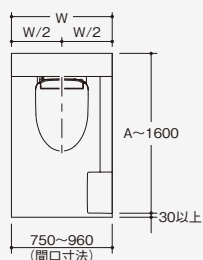
##### 〈L型・Mサイズ〉

カウンターは使い勝手に応じて手洗器の位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて任意の長さにカットできます。



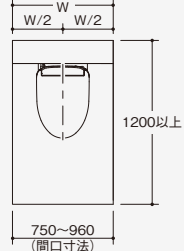
##### 〈L型・Sサイズ〉

カウンターは使い勝手に応じて手洗器の位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて任意の長さにカットできます。



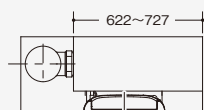
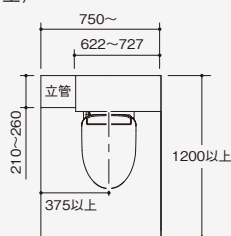
タイプ	A (単位:mm)	
	間口750～840	間口841～960
共通	1265	1190

##### 〈I型〉



#### (2) 立管対応タイプ (622～727mm) の場合 (I型のみ)

##### 〈I型〉

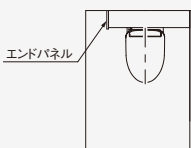


露出配管の場合、フランジ端から622～727mmが必要です。

※図は左抜きの場合。(右抜きの場合は上図と逆勝手となります。)

エンドパネルを利用して壁とすき間をあけて設置できます。

※本図はRタイプのエンドパネルです。逆勝手がLタイプです。  
※左右抜きで排水管が干渉する場合や、立管対応タイプの場合はエンドパネルは使用できません。



### 1-2 窓枠などについて

壁に窓枠や腰壁の見切りなどの突起物がある場合、図のような制約が付きま。事前に製品と干渉しないように注意してください。特に後ろ壁に窓がある場合はご注意ください。

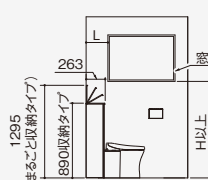
#### (1) 大便器後ろ壁に窓がある場合



タイプ	まるごと収納タイプ		収納タイプ	
	H1	H2	H1	H2
L型・Mサイズ	1050	1100	890	910
L型・Sサイズ	1050	1100	890	910
I型・手洗器あり			890	1020
I型・手洗器なし	1050	1100	890	910

※まるごと収納タイプで、窓枠の高さが1100～1295mmかつ、窓枠の出が10mmを超える場合は天板が自走しません。

#### (2) 大便器横壁に窓がある場合



タイプ	まるごと収納タイプ		収納タイプ	
	L=300以上	L=300未満	L=300以上	L=300未満
L型・Mサイズ	840	1330	840	910
L型・Sサイズ	1040	1330	1040	1040
I型・手洗器あり	—	—	—	1020
I型・手洗器なし	—	1330	—	910

## 2 取り付け施工条件について

### 2-1 給排水位置の条件

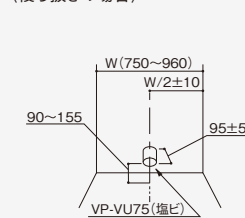
#### (1) 排水位置の条件

下図の位置に便器の排水管位置があることを確認してください。

排水勾配は必ず1/50以上確保してください。

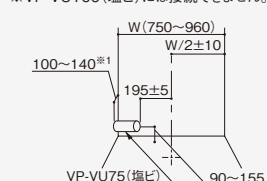
便器と排水管はジャバラ管(軟質塩ビ製)での接続です。

##### 〈後ろ抜きの場合〉



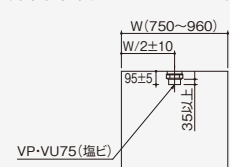
##### 〈左抜きの場合〉

※右抜きタイプの場合は左右対称です。  
※VP-VU100 (塩ビ)には接続できません。



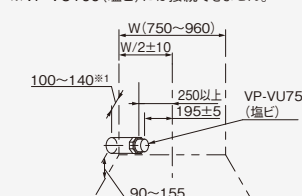
##### 〈後ろ抜き・フランジ付の場合〉

排水位置高さは90～155です。



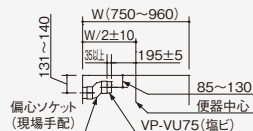
##### 〈左抜き・フランジ付の場合〉

※右抜きタイプの場合は左右対称です。  
※VP-VU100 (塩ビ)には接続できません。



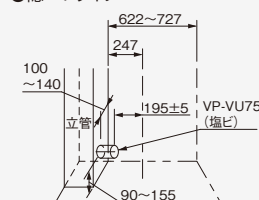
※図は左抜きの場合。右抜きタイプの場合は左右対称です。

※1 排水位置が後ろ壁から131～140の場合は別途偏心ソケットをご発注いただき、右図の位置に立ち上げてください。偏心ソケットは逆勾配にならないように、取り付けてください。



#### 〈立管対応タイプ (I型のみ) の場合〉 ※右抜きタイプの場合は左右対称です。

##### ●隠ぺいタイプ



##### ●露出タイプ

